

南地域まちづくり

かわら版

第2回 福祉・防災部会を開催しました！

10月18日(日)健康文化センターで第2回南地域自治組織福祉・防災部会を開催しました。

今年は、新型コロナの影響により、すべての部会員が集まる座談会が中止になったこともあり、改めて南地域自治組織の設立の経緯やこれまでの取り組みを振り返るところから部会をスタートさせました。南地域自治組織事務所設置に向けた状況、南小保護者向けアンケートの結果や児童標語入選作品の紹介がされた後、



『部会の様子』

今年度の部会の取組について協議をしました。今年は、新型コロナの影響により、人を集めて事業を実施することは難しい面がありますが、認知症の勉強会については、関係者を絞り、新型コロナ対策をしたうえで開催していくことを決めました。

第2回 防犯・交通安全部会を開催しました！

10月24日(土)健康文化センターで第2回南地域自治組織防犯・交通安全部会を開催しました。

今年の防犯・交通安全部会の大きなテーマは作成後6年経過した「安心・安全マップ」の更新です。当日は、秋田、豊田、大屋敷に分かれ、部会員の皆さんが事前に調べてきた通学路の危険箇所を地図に落とし込みました。作業を進める中で「ここは、カーブミラーが見にくくて危険！」「ここは、車がスピードを上げるから危険！」など、子ども達の安全を守るため、活発な意見が繰り広げられました。



『秋田地区の様子』



『豊田地区の様子』



『大屋敷地区の様子』

南地域のたからもの vol.37

～小平治弘法～

大屋敷にある長松寺の境内には、「小平治弘法」と呼ばれる弘法さまの石碑があり、これにまつわる昔話が残っています。

むかしむかし、大屋敷村に小平治という大工の若者がいました。酒やバクチが大好きで、村人からはのけ者にされていたそうです。ある年、村の小川にかかった木橋が長雨に流され、村の人々が大変困っていたため、小平治は庄屋さんに修理を申し出ましたが、全く相手にされませんでした。そこで小平治は村にある橋を全て石橋にしよう決めます。各地の霊場で寄付を募ったり、働いたりして多くの浄財を集め、11か所の木橋を石橋に架け替えました。それ以来、小平治は村人の尊敬を集め、明治33年(1900)、惜しまれながら亡くなってしまいました。村の人々は小平治の遺徳を偲び、昭和2年(1927)に石碑を建立しました。

建立した石碑に刻まれている弘法さまは、左眼がきれいに彫られていないように見えます。小平治は生前、左眼が見えなかったため、彼の霊がこのように彫ったのでは？という不思議な話が広まりました。そしてこの弘法さまに触れると眼の病気が治ったという人も現れ、「小平治弘法」とか「目たたき弘法」と呼ばれてその名は広まり、多くの参拝者があったそうです。



小平治弘法(長松寺)

夕方の5時～7時は『魔の時間』

大口町では、夕方5時から7時までの時間帯における交通事故が多発しています。これから日没時間も早くなってきますので、車を運転される方は早めのライト点灯をし、交通事故防止に努めましょう。



青パト隊員絶賛募集中！

* 青色防犯パトロール講習を受けていなくても参加できます。

一緒に活動していただける方、ご連絡ください。

■連絡先 役場地域協働課 ☎95-1691

■活動回数 月1～2回程度

